

大きな関心を呼ぶ大阪ダブルのたたかい

「反維新」の元副知事、元大阪市議コンビか、「維新」の入れ替えコンビか。違いがクッキリしてきました。

見比べてください

反
維新

「都構想」を きっぱり終結させる

「都構想」は、大阪市をなくし、「1500億円以上のぼう大なコストとムダ」、「いまやるべきは教育や中小企業支援」、「『都構想』で『権力を一本化』（維新）というのは危険な発想。知事、市長は『権力者』ではなく、住民の代表」とズバリ。

反
維新

子どもの教育、防災、 中小企業支援すすめる

くらしを守る自治体としての府政、市政の姿を取り戻し、「成長を分かち合える大阪」を主張。

「『都構想』にムダなお金をかけるくらいなら、いじめや虐待、不登校、教員不足に直面する子どもや教育のために予算を」。防災、中小企業支援に力を入れるときっぱり。

反
維新

「都構想の終結」へ、 保守層含む広い共同

「『都構想』に終止符を打つラストチャンス!」と維新以外のすべての政党、団体、個人が集まって、保守層を含む広い府民共同が生まれています。2015年住民投票の際、「大阪都ノー」をつきつけたのも、この力です。

維新

中身もやり方も破たん、 「都構想」をゴリおし

法律に「関係市を廃止」と書いているのに、「『都構想』で大阪市はなくなる」とウソ。2015年の住民投票で「ノー」の審判を受けたのに、公明党との「密約」や府・市政ダブル投げ出しでゴリ押しを狙っています。

維新

「カジノ」「都構想」ありき。 福祉・医療・防災は二の次に

「カジノ」は「リスクはあってもやる」（維新代表）と暴走。台風21号の際には府市とも災害対策本部を設置せず、外遊へ。「二重行政」の名で住吉市民病院は廃止しました。国民健康保険の府一元化で、新たな値上げの危険が生まれています。

維新

「一党一派」で 反対の声や異論を排除

維新は異なる意見をいうものを「敵」とか、「野合」呼ばわりして、耳を傾ける姿勢がありません。これで880万府民・270万市民のリーダーが務まるのでしょうか。

大阪の明日への選択
クッキリうかがえる3つの違い

